

隙間を設けない鍮が引用文献4に記載されているように、この分野において隙間を設けるか否かは当業者が適宜案出し得る設計的事項に過ぎない。

(6) 請求項7、8に対して、引用文献1

係止段部を設けることは、釣りの仕掛けにおいて常道手段である。

(7) 請求項9に対して、引用文献1

より戻しを設けることはこの分野において慣用手段である。

(8) 請求項10に対して、引用文献1

(9) 請求項11に対して、引用文献5

引用文献5の基本おもりは30号、調整おもりは10号を使用し号数は自由に決めて良いと記載されている(【0008】)。

(10) 請求項12に対して、引用文献1及び6

引用文献6第3図(B)に内部筒部材内に移動自在に挿通した接続釣糸が記載されている。

(11) 請求項13に対して、引用文献1及び7

テーパ状に内部筒部材を構成することは引用文献7図12に記載されている。

(12) 請求項14に対して、引用文献1

内部筒部材の先端部と後端部との内端縁及び外端縁を曲面形状に曲げる点について、釣糸が角に当たると切れやすいことは周知であり、曲面を付けることで切断を防ぐことは例示するまでもなく周知の事項である。

引用文献等一覧

1. 実用新案登録第3041602号公報
2. 実願昭59-90068号(実開昭61-4578号)の願書に最初に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム
3. 実用新案登録第3093942号公報
4. 特開2001-321049号公報
5. 実願平5-28634号(実開平6-81275号)の願書に最初に添付した明細書及び図面の内容を記録したCD-ROM
6. 実願昭50-99903号(実開昭52-14190号)の願書に最初に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム
7. 特開平10-94353号公報

整理番号 P15-054229

発送番号 303598 3/E
発送日 平成15年 9月 2日

・調査した分野 IPC第7版 A01K95/00
DB名

・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第1部自然資源 郡山

TEL. 03(3581)1101 内線3236

FAX. 03(3501)0478